

3 各区役所の計画事業

市民にとって身近な区役所では、区や地域の特性を活かした魅力あふれる地域づくりを進めるためにさまざまな事業を実施し、市民の主体的なまちづくり活動を支援しています。

ここでは、計画期間内（平成19～22年度）において実施される区役所の事業のうち、施政方針に掲げる5つの政策目標と15の重点課題に沿った事業や、区が抱える課題の解決につながる、あるいは区の特性を活かした取り組みの中で、本計画事業として位置づけたものをご紹介します。

事業名・担当部 〔計画事業費〕	事業内容 達成目標
各区実施事業	
中央区	
市立大学と進める すこやかで安心な まちづくり事業 中)市民部 〔 - 〕	地域での保健・医療・福祉に関する課題に対応していくため、市立大学看護学部と区の連携協働のしくみづくりを行い、このしくみを活用して都市化・少子高齢化に対応した区実施プランを策定し、地域での保健福祉活動を広めていきます。 ○市立大学との連携協働のしくみづくり H18： - ⇒ H22：構築 ○しくみを活用しての区実施プランの策定 H18： - ⇒ H22：策定
北区	
子どもの安全を地域で守る 地域安全マップづくり事業 北)市民部 〔5百万円〕	子どもたちが地域住民と協力して、防犯の観点に立った「地域安全マップ」を小学校区単位で作成することを通じて防犯意識を高めるとともに、地域に配布することで、情報の共有化を図ります。 ○区内で地域安全マップが作成されている小学校区数 H18： - ⇒ H22：8校区（29校区中）
東区	
アマとホップの フラワーロード推進事業 東)市民部 〔4百万円〕	東区にかつてあった製麻工場やビール工場にちなみ、アマとホップを北8条通を中心に植栽する活動を通じ、歴史と花が融合した地域独自の景観づくりと、地域の交流と賑わいを創出する地域主体の特色ある取り組みを支援します。 ○フラワーロードの延長、プランター（栽培容器）設置数 H18：2,200m、130基 ⇒ H22：2,650m、230基 ○参加団体数 H18：12団体 ⇒ H22:15団体
地域と大学の連携推進 事業 東)市民部 〔4百万円〕	東区内にある看護、栄養、保育、音楽などの専門的な大学と地域とが連携して、健康づくりや子育てサロン*の運営といった活動を実践し、その研究成果を取り入れ、地域と大学の交流を深める各種活動を支援します。 ○地域と大学との連携事業数 H18：1事業 ⇒ H22：4事業
白石区	
高齢者が安心して暮らせる まちづくり推進事業 白)保健福祉部 〔6百万円〕	「要援護者（区内の65歳以上の単身高齢世帯で、介護保険サービスを利用していない人）」の福祉ニーズを把握し、地域住民を中心としたネットワークを発展させるとともに、ニーズに即した介護予防事業などの福祉支援活動を実施するなど、地域住民が自ら支援を行える体制づくりを推進します。 ○地域における要援護者への体制づくり H18： - ⇒ H22：全地区での取り組み
厚別区	
サイクリングロード モザイクアート事業 厚)市民部 〔4百万円〕	サイクリングロードのトンネル内の壁面をモザイクアート*で飾ることで、落書きを防ぎ、地域の景観を保ち、犯罪を誘発させない環境をつくります。 ○アート壁面（累計） H18：1面 ⇒ H22：5面
厚別清掃工場跡地 パークゴルフ場等整備事業 厚)市民部 〔84百万円〕	厚別区暫定利用検討委員会からの提言書（H18.4）を受け、厚別清掃工場跡地に、パークゴルフ場と芝生広場を整備します。 ○パークゴルフ場 H18： - ⇒ H21：供用開始

事業名・担当部 (計画事業費)	事業内容 達成目標
豊平区	
「安全・安心な街とよひら」 推進事業 豊)市民部 [4百万円]	区民主導の安全・安心の取り組みを発展させるため、「(仮称)豊平区地域安全会議」を立ち上げます。また、区内各地域が実施する災害訓練、防犯活動に対し、講師派遣や用品などの支援を行います。 ○(仮称)地域安全会議等の開催回数(累計) H18: - ⇒ H22: 7回 ○簡易型災害図上訓練*等の開催回数(累計) H18: 3回 ⇒ H22: 12回
豊平スポーツ・健康づくり 応援事業 豊)市民部 [14百万円]	地域の大学生や地元住民と協働した各種スポーツイベントの開催などにより、区民のスポーツ振興と健康増進を図るとともに、地域住民や商店街などと協働でファイターズ、コンサドーレ応援イベントを開催し、地元住民の連帯意識の醸成や相互交流を促進します。 ○スポーツイベント等参加者数 H18: 700人 ⇒ H22: 1,000人 ○ファイターズ、コンサドーレ応援イベント参加者数 H18: 2,000人 ⇒ H22: 5,000人
清田区	
やすらぎ歩行空間プラン の策定 清)市民部・土木部 [8百万円]	旧国道36号線である市道清田4号線について、魅力的でやすらぎがあり楽しみながら歩ける歩行空間づくりのプランを、住民や企業などによるまちづくりに関する会議を立ち上げて策定します。 ○やすらぎ歩行空間プランの策定 H18: - ⇒ H22: 策定
南区	
落葉から環境保全と地域 交流事業(香りとみどりに あふれたまちづくり) 南)市民部 [7百万円]	住民・学校などと連携し、落葉や花苗などの植物や自然を利用した環境教育を進め、環境保全の推進を図るとともに、宿根草・香りのある草花を主とした循環型モデルガーデン*を設置し、住民相互の連帯感を生み育てます。 ○参加団体数 H18: 2団体 ⇒ H22: 15団体
西区	
地球に優しいまちづくり 支援事業 西)市民部 [15百万円]	地域の自主的な環境活動への支援や、まだ普及はしていないが環境負荷低減の効果が見込まれる取り組み・システムを試験的に導入して検証を行います。 ○計画期間中の環境活動への参加者数 H18: 24,322人 ⇒ H22: 36,500人
手稲区	
知的障がい者等を対象と したホームヘルパー養成 モデル事業 保)保健福祉部 手)保健福祉部 [8百万円]	障がい者と高齢者がともに支えあうまちづくりに向けた取り組みの一環として、高等養護学校の卒業生などの知的障がい者を対象としたホームヘルパー3級養成講座をNPO*と連携して実施します。 ○講座を受講した障がい者数(累計) H18: - ⇒ H22: 25人